

赤ちゃんにハチミツを あげてはいけない理由 ～ハチミツと乳児ボツリヌス症～

千葉県医師会小児科医会 福原 知之 医師

こども急病電話相談

受診するべきかどうか迷ったら

#8000

毎日夜7:00～翌朝6:00

※相談は無料ですが、通話料はご負担いただきます。

ダイヤル回線・IP 電話・光電話・銚子市からは

☎043 (242) 9939

Q1 なぜ赤ちゃんに ハチミツを与えてはいけないの？

ハチミツの中にはボツリヌス菌の芽胞が入っている場合があります。

芽胞とは、細菌にとって過酷な条件(高温、乾燥等)でも、休眠状態で生き延びることができる細菌の形です。

赤ちゃんがハチミツに含まれたボツリヌス菌の芽胞を食べると、芽胞が腸管内で低酸素状態に置かれます。ボツリヌス菌は低酸素状態を好むので、腸管内で増殖を始め、毒素を産生します。この毒素によって、赤ちゃんが乳児ボツリヌス症を発症するのです。

1987年に船橋市内の病院が、日本で初めてハチミツによる乳児ボツリヌス症を報告し、当時の厚生省が通達を出して以来、日本でも乳児にハチミツを与えてはいけないと言われるようになりました。

Q2 ハチミツは何歳くらいまで 与えてはいけないの？

乳児ボツリヌス症の多くは6か月以下の赤ちゃんに発症し、1歳を過ぎると安全です。1歳になるまではハチミツを与えてはいけません。

Q3 加熱しても与えてはいけない？ 焼き菓子や飲み物などの 加工食品は？

ボツリヌス菌芽胞は熱に強く、菌種によっては100度で10分加熱しても殺菌できません。その

ため、加熱してあったとしても、ハチミツ入りの焼き菓子やカステラ、飲み物は赤ちゃんに与えてはいけません。

Q4 誤って口にした場合は どうしたらよいの？

乳児ボツリヌス症の症状に注意して観察してください。

ハチミツやハチミツ入りの食べ物を食べて、便秘や、表情が乏しい、ミルクを飲む力が弱い、手足の動きが少ない、力が弱い等の症状が見られた場合は、速やかに小児科を受診してください。

その他にも気になる症状があれば、小児科に相談しましょう。

ボツリヌス菌の芽胞が混入したハチミツを摂取して、3日から30日経過してから発症することが多いです。

